

会員・会友・協力会員各位

(公社)日本建築家協会千葉地域会

(公社)日本建築家協会千葉地域会第2回 役員会報告

日時 6月25日(木) 16時00分～18時00分 (於・JIA千葉 会議室)

役員 榎本雅夫、荒井裕三、寺川典秀、星野治、森田敬介、大岩義充、安達文宏、井上茂實、岡田成和、
風戸宏孝、河原泰、向後勝弘、小島広行、橋場隆夫、柳田富士男

監査／宇野武夫、村井一知 協力会／鈴木周二、川原武美、平宅武司

(出席者は氏名下にアンダーライン)

1. 行事の実施と予定(4:00～4:25)

(1) 前回役員会以降に実施された会議・行事、及び報告事項等

- ア. 6月10日(水) ゴルフコンペ(真名 CC)
- イ. 6月12日(金) 千葉県耐震判定協議会理事会
- ウ. 6月15日(月) 安心安全計画百科打合せ会
- エ. 6月18日(木) 建築相談
- オ. 6月20日(土) JIA支部建築相談委員会主催セミナー(東京途中央区京橋のAGCstudio)
「トラブルを未遂に防ぐために-建築前(購入前)・建築後(購入後)の法律知識」
- カ. 6月20日(土) JIA支部建築相談会(東京途中央区京橋のAGCstudio)
- キ. 6月22日(月) 千葉県建築設計6団体実務者会議
- ク. 6月22日(月) 千葉県建築設計6団体連絡会議講習会
- ケ. 6月25日(木) JIA本部通常総会
(報告事項等)
 - ・12日開催 千葉県判定協議会理事会 報告(荒井)
 - : 今年度より判定協議会の業務が減るため、今後の事務局運営はできなくなっていくため、事務局員の人数等考えていかなければならない。
 - : 法人格にしていき収益のあがるような団体へと移行していくことも含め、複数案が提案された。
 - ・22日開催 6団体実務者会議及び講習会 報告(荒井)
 - : 会議に先立ち、JIA及び日事連の建築家賠償責任保険(けんばい)の説明会を開催。
 - : 6団体実務者会議メンバーのみでなく、今後6会全会員に向けて9月3日に講習会を開催する。
 - : 災害時における県と6団体との防災協定締結に向けた協議。
 - : 定期調査、定期検査業務と業務費の乖離について今後県土整備部と協議をする。
 - : 6団体連絡会議のための意見集約のための6団体連絡協議会があり、その中に実務者会議があり、今年度も業務改善に関する前払い金、最低制限価格も決定、入札参加資格要件の設定等について未整理の自治体等へ重点的に要望を行う。

(2) 次回役員会までに開催する会議・行事予定

- ア. 6月27日(土) JIA全国学生卒業設計コンクール
- イ. 6月27日(土) 欠陥建築トラブル法律相談会
- ウ. 6月30日(水) 安心安全計画百科打合せ会
- エ. 7月2日(木) 建築相談
- オ. 7月2日(木) 立川ブラインド工業新商品発表会(幕張メッセ)
- カ. 7月16日(木) 建築相談
- キ. 7月23日(木) 7月定例役員会
(連絡・調整事項等)
 - ・県立図書館問題に関する状況報告(荒井)
 - : 県立図書館に対し、JSCA 千葉 市原氏より報告があった。
 - : 県もまだ打開策がなく、県教育庁や施設改修課では現状の問題点を抱えたまま留まっていて、管財課との今後の方針が明確にされていない。引き続き市原氏に県への問い合わせ、確認等をお願いする。

2. 本日の議題(4:25~6:00)

①活動の透明性と情報の共有

- ・SNS(インスタグラム)によるリアルタイムな情報発信の試行(榎本)
 - ・活動内容(イベントの様子や会員作品、オープンハウス等)を画像中心で公開することにより、会内外に向けてわかりやすく情報発信をしたい。
 - ・まずは、一般的にインスタグラムがどのように活用されているのか、各自体験してほしい。その後有効なツールと判断できたら導入する。(見本的な参考例: robinson_architects bauhaus.movement d.signers)(現実的な参考例: enomoto_architects ←HPの補完情報としての活用を試行中)
- ・建築相談に関するデータ公開の具体化(相談委員会)
 - ・相談内容のすべてを公開することは問題がある。
 - ・公開可能なデータの範囲について相談委員会で協議する。

②法人協力会との関係工場会議(仮称)の開催について

- ・法人協力会との関係向上会議と〇〇with ワインを併せて開催することとし、事業委員会と協力会で内容を具体化する。会議といっても気楽に語り合える場を想定している。
 - ・7月23日(木)夕刻より開催する。行事名称や場所等未定。詳細が決まり次第配信する。
 - ・上記開催に向け、協力会より連携強化についての要望が出された。これらを話題のベースにする。
 - ① 品選定・メーカー選定を協力会の内より優先的に採用して頂きたい
 - ② 社製品を各会員様へのPRする機会を考案して欲しい。
少人数(10名以下)小時間(30分程度)での開催を検討してもらいたい。
また同業種連合(地質・杭)で製品技術説明会を開催したい。
各会合前に参加会員に商品説明会を開催させていただきたい。
 - ③ 社の新製品発表会・セミナーにご参加頂きたい。
 - ④ 前協会時お願いした内容で協力会員が訪問した時、面談して欲しい
(突然訪問・時間外訪問等常識外れの場合を除き・居留守等は無いよう)
 - ⑤ 協力会会員の窓口・担当者・連絡法を明確にしていきたい。
(すでに作成した使えるメーカーリスト等など作成)
 - ⑥ 設計におりこんでいただく方法を考案して欲しい(各社の特徴を表現していただきたい)
 - ⑦ 研修旅行の工場見学希望社を積極的に募集していきたい。
 - ⑧ 協力会の入会費(細則の第2条)において入会金を50000円となっておりますが、漸次前協会同様に免除していただきたい。(←平成26年9月25日の役員会において免除することが決定している。)
 - ⑨ 規メーカーの百科シリーズ、学生賞に参加要請・広告費等を受領討。
 - ⑩ 会員の側から協力会入会募集を積極的に行っていただきたい。
 - ⑪ 協力会が持っている施主情報を提供していきたい。

③建築展の開催について

- ・きぼーるの空きが年内は8月7, 8, 9日のみ(事実上無理)。
- ・来年は1月全週末に空き有。きぼーるで開催する場合、1月が最短、3月は学生賞イベント月。
- ・1月開催とするなら新年会と同時開催ではどうか?(建築展共催・きぼーる 新年会のみ近くの中華料理移動とか) →1月はあわただしく、準備不足になることが予測される。
- ・本年未開催とする場合、法人協力会フェスティバル等他の行事に何らかの建築展企画を組み込んではどうか?
- ・建築展担当メンバーは学生賞と重なるため、2つの行事に半年程度空けるのが適当と思われる。第4回は

来年の秋に開催する方が余裕をもって開催準備ができる。

- ・会場を同じ場所で固定化し、かつ学生賞会場となる「きぼーる」での開催することが、アピール性や知名度を高めるうえでも望ましい。

(柳田 意見(書面))

- ・6会周知で出展作品量と予算を増やす
- ・シンポジウムか講演か開催イベントを充実
- ・十分な事前PRして会員、関係者、行政、大学、市民の来訪者を増やす
- ・「春の学生賞、秋の建築展」・・・学生賞に負けないイベントとする

(決定事項)

- ・「開催は秋、場所きぼーる」で恒例の行事にする・・・「春の学生賞、秋の建築展」
- ・開催準備日程から、次回開催は来年秋とするが、会場確保や企画立案をできるだけ早期から行う。

④県立図書館問題について

- ・現時点で把握できていることは、荒井氏報告(前記1、(2))の通り
- ・継続して市原氏と連絡を取り合い、JSCA千葉との連携体制で現状把握に努める。その結果をふまえて6団体との調整を図りながらJIA千葉としての活動を具体化する。
- ・JIA支部保存委員会との関係も十分に図ることは不可欠であるが、現時点においては上記をオフィシャルな折衝ルートとされたい。

⑤安心安全計画百科について

- ・内容等説明(森田、協力会)
 - ・具体的な内容を説明。(詳細については後日に皆様に案内を配信)
 - ・講師をお願いする千葉感染制御研究所の柴田氏と森田常任幹事、協力会の担当者三和シャッター工業の坂本氏、立川ブラインド工業の平宅氏が最終打合せした旨の報告があった。
 - ・今回は、通常送付している行政や友好団体の他に医療関係にも案内を送付する。
 - ・閉会のあいさつは通常副代表がしていたが、尽力している協力会の鈴木会長にあいさつをお願いする。
 - ・百科講習会終了後の納涼会は毎年開催している「香林閣」で開催を予定している。
 - ・納涼会の席上、櫻井前代表への記念品を贈呈したい。

⑥会友の新規入会について

一級建築士事務所STYLELAB 所長 磯野智由
入会を承認。来月に役員会において面接予定とする。

⑦その他

- ・市民向け、民間向け事業についての立案
 - ・オープンハウスの開催等について事業委 小島氏を中心に企画する。
- ・CSA一時借入金を返済した件
 - ・年度当初の運転資金として借用した50万円を返済し、CSAの定期預金を作成しました。
- ・会員慶弔規定について
 - ・寺川副代表が会員慶弔規定(案)を作成。次回役員会までに内容を協議の上、決定する。